

5 食育について

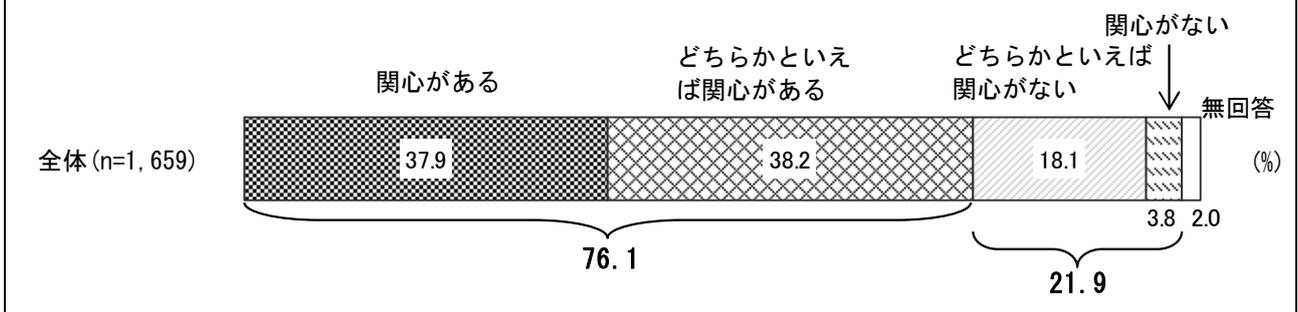
（1）食育への関心度

◇『関心がある（計）』が7割台半ば

朝食の欠食や野菜の摂取不足、食塩の過剰摂取などの食生活に関する課題が多いことから、県では、規則正しい食生活や栄養バランスのとれた食事の実践、「食」に関する正しい知識の習得、農林水産業や食文化に対する理解を通じて、県民の皆様が健全な食生活を送れるよう、食育の推進に取り組んでいます。

問24 「食育」に関心がありますか。（○は1つ）

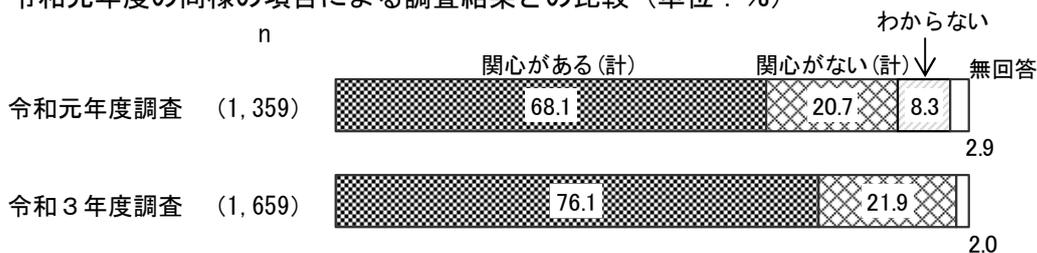
＜図表5-1＞食育への関心度



食育に関心があるか聞いたところ、「関心がある」(37.9%)と「どちらかといえば関心がある」(38.2%)を合わせた『関心がある(計)』(76.1%)が7割台半ばとなっている。

一方、「どちらかといえば関心がない」(18.1%)と「関心がない」(3.8%)を合わせた『関心がない(計)』(21.9%)が2割を超えている。(図表5-1)

〔参考〕令和元年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：%）



【地域別】

地域別にみると、『関心がある(計)』は“夷隅地域”(92.6%)が9割を超えて高くなっている。(図表5-2)

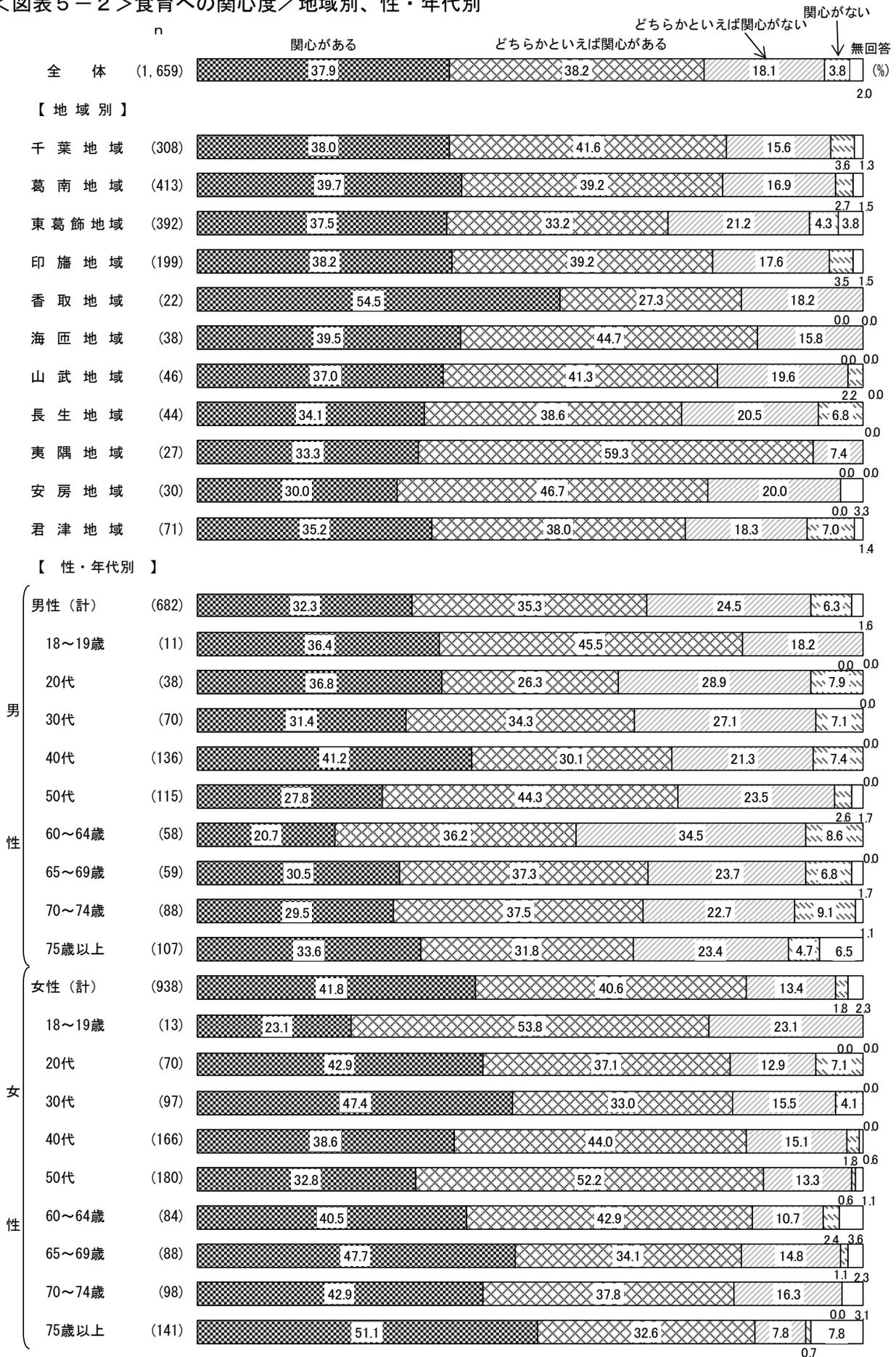
【性・年代別】

性・年代別にみると、『関心がある(計)』は女性の50代(85.0%)と女性の75歳以上(83.7%)が8割台半ばで高くなっている。

一方、『関心がない(計)』は男性の60～64歳(43.1%)が4割を超え、男性の20代(36.8%)と30代(34.3%)が3割台半ば、男性の70～74歳(31.8%)が3割を超えて高くなっている。

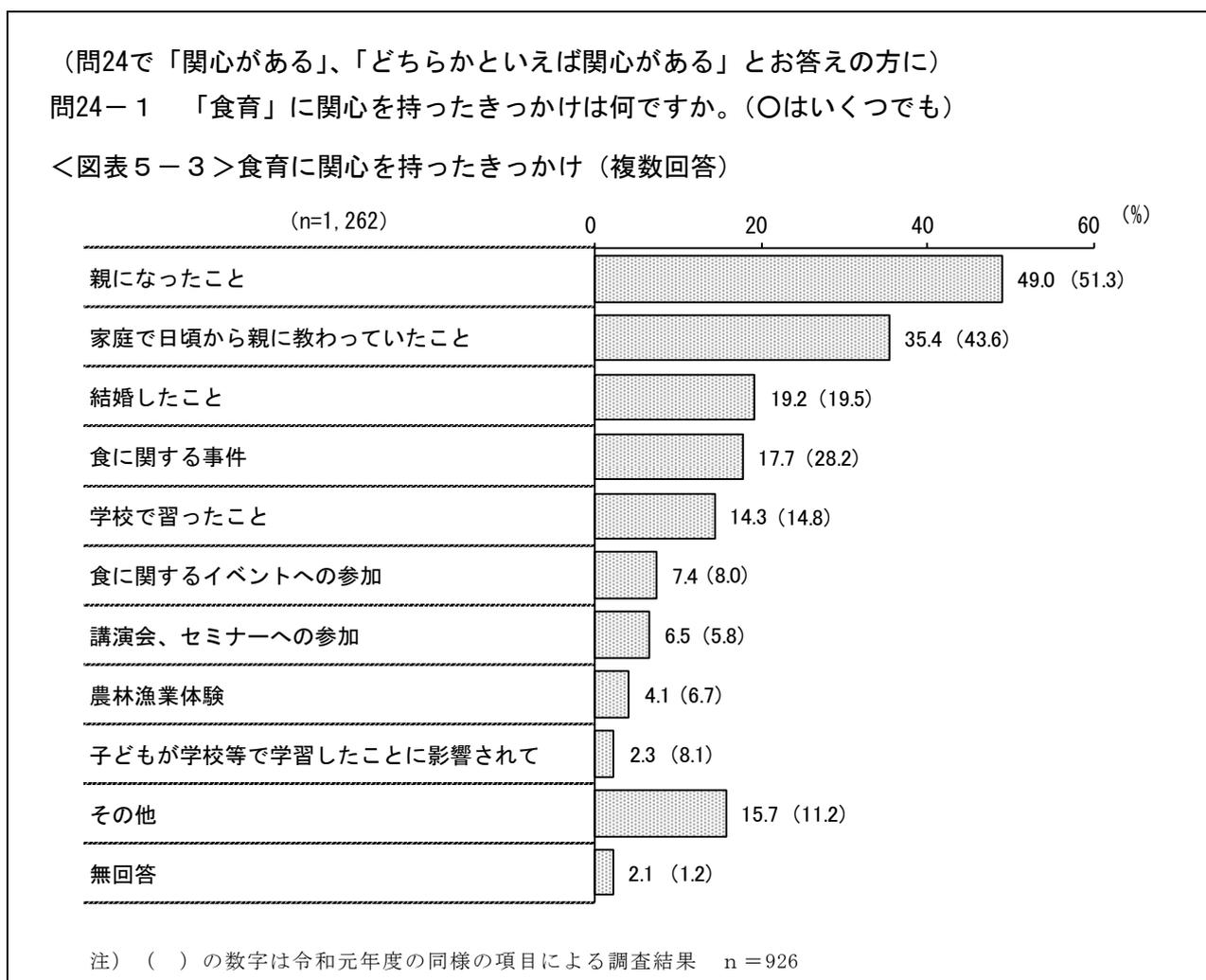
(図表5-2)

<図表5-2>食育への関心度／地域別、性・年代別



（2）食育に関心を持ったきっかけ

◇「親になったこと」が約5割



食育に関心があると回答した 1,262 人を対象に、関心を持ったきっかけを聞いたところ、「親になったこと」(49.0%)が約5割で最も高く、以下、「家庭で日頃から親に教わっていたこと」(35.4%)、「結婚したこと」(19.2%)、「食に関する事件」(17.7%)が続く。(図表5-3)

【地域別】

地域別にみると、「家庭で日頃から親に教わっていたこと」は“安房地域” (69.6%) が約7割で高くなっている。

「学校で習ったこと」は“長生地域” (28.1%) と“夷隅地域” (28.0%) が約3割で高くなっている。(図表5-4)

【性・年代別】

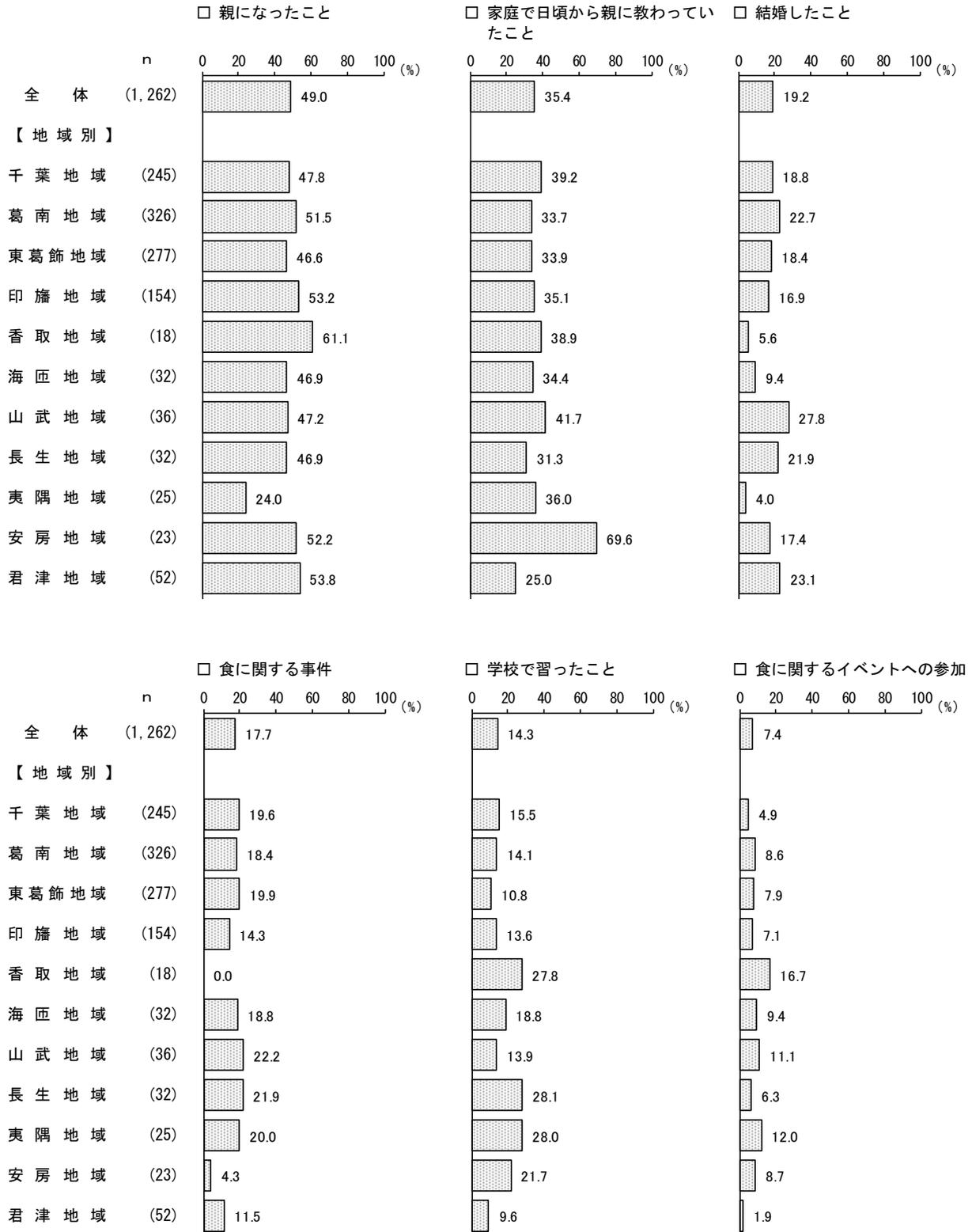
性・年代別にみると、「親になったこと」は女性の50代 (71.2%) が7割を超え、女性の40代 (69.3%) が約7割、女性の60～64歳 (64.3%) が6割台半ばで高くなっている。

「家庭で日頃から親に教わっていたこと」は女性の75歳以上 (45.8%) が4割台半ばで高くなっている。

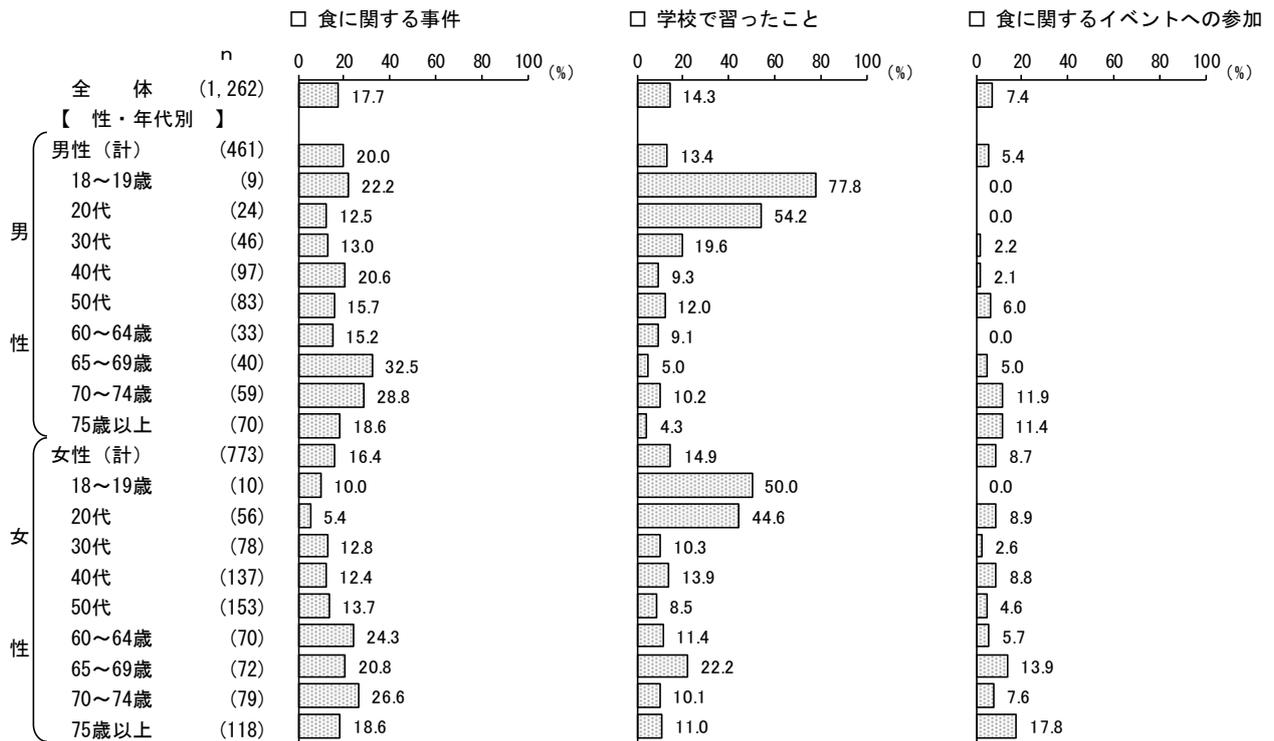
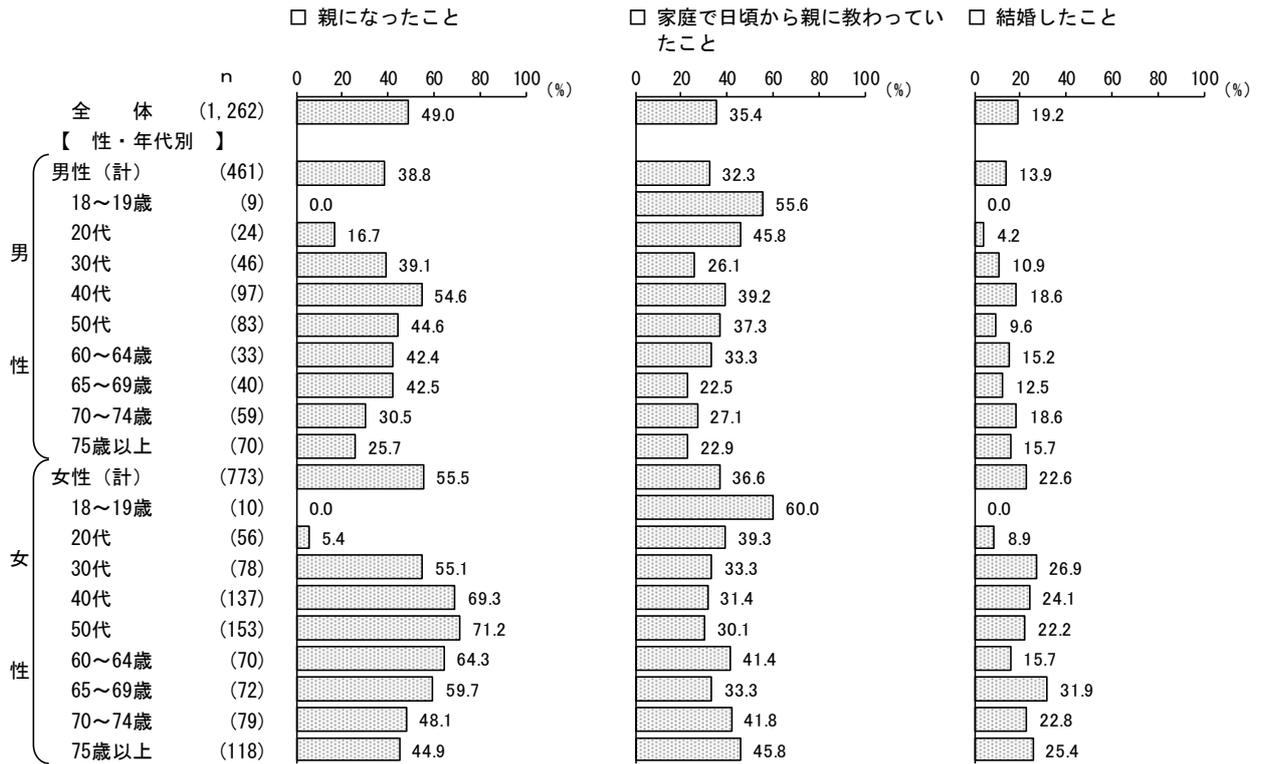
「結婚したこと」は女性の65～69歳 (31.9%) が3割を超えて高くなっている。

「食に関する事件」は男性の65～69歳 (32.5%) が3割を超え、男性の70～74歳 (28.8%) が約3割、女性の70～74歳 (26.6%) が2割台半ばで高くなっている。(図表5-4)

<図表5-4>食育に関心を持ったきっかけ（複数回答）／地域別、性・年代別（上位6項目）

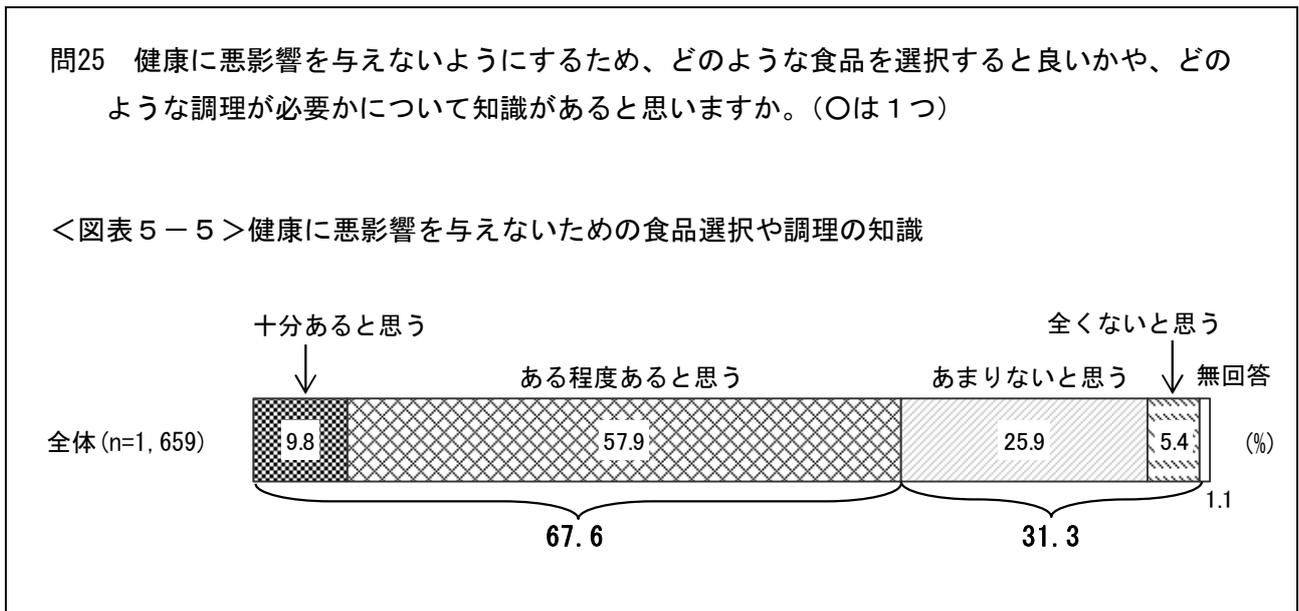


第62回県政に関する世論調査（R3年度）



（3）健康に悪影響を与えないための食品選択や調理の知識

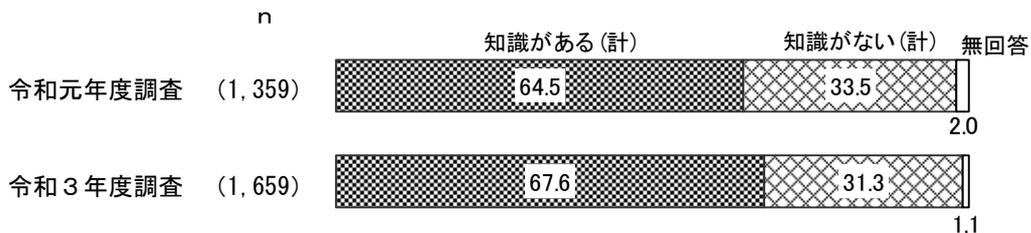
◇『知識がある（計）』が約7割



健康に悪影響を与えないようにするため、どのような食品を選択すると良いかや、どのような調理が必要かについて知識があるか聞いたところ、「十分あると思う」(9.8%)と「ある程度あると思う」(57.9%)を合わせた『知識がある(計)』(67.6%)が約7割となっている。

一方、「あまりないと思う」(25.9%)と「全くないと思う」(5.4%)を合わせた『知識がない(計)』(31.3%)が3割を超えている。(図表5-5)

〔参考〕令和元年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：%）



【地域別】

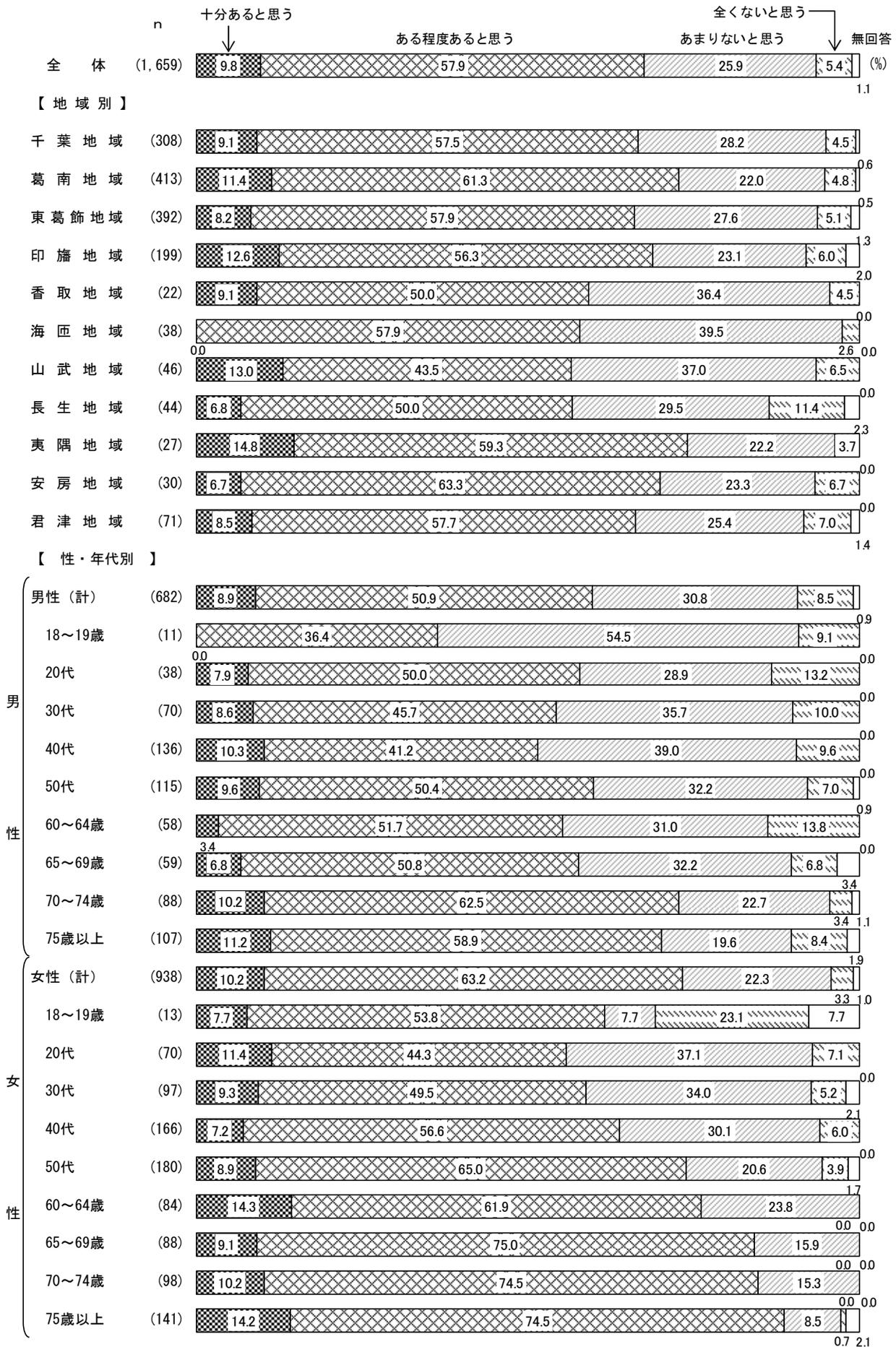
地域別にみると、『知識がある(計)』は“葛南地域”(72.6%)が7割を超えて高くなっている。(図表5-6)

【性・年代別】

性・年代別にみると、『知識がある(計)』は女性の75歳以上(88.7%)が約9割、女性の70~74歳(84.7%)と65~69歳(84.1%)が8割台半ばで高くなっている。

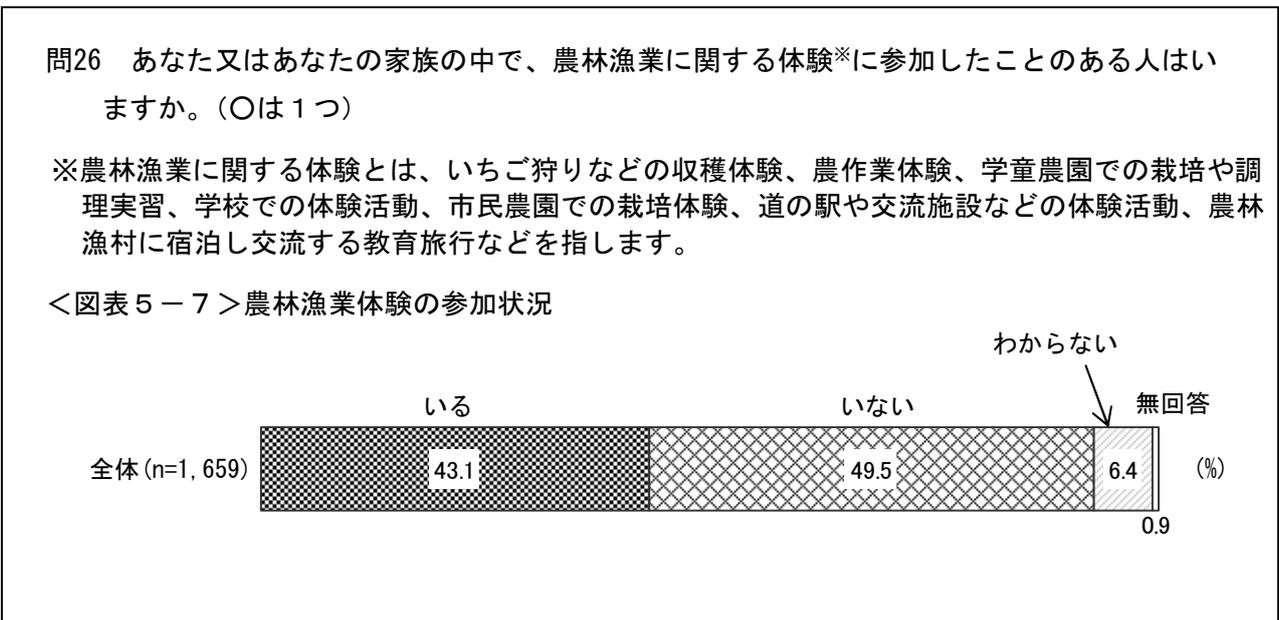
一方、『知識がない(計)』は男性の40代(48.5%)が約5割、男性の30代(45.7%)、60~64歳(44.8%)と女性の20代(44.3%)が4割台半ばで高くなっている。(図表5-6)

<図表5-6>健康に悪影響を与えないための食品選択や調理の知識／地域別、性・年代別



（4）農林漁業体験の参加状況

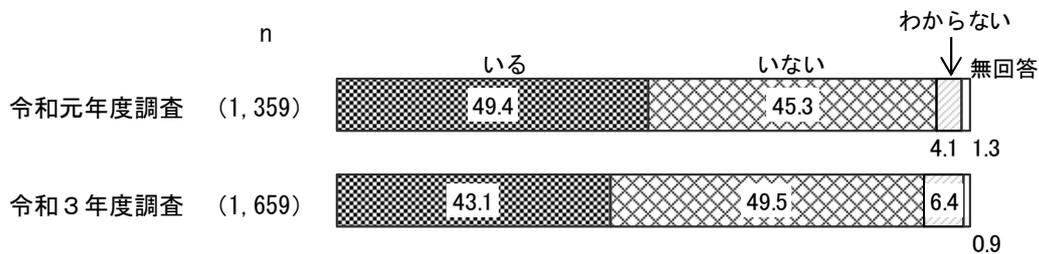
◇「いる」が4割を超える



自分又は自分の家族の中で、農林漁業に関する体験に参加したことがある人があるか聞いたところ、「いる」（43.1%）が4割を超えている。

一方、「いない」（49.5%）が約5割となっている。（図表5-7）

〔参考〕令和元年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：%）



【地域別】

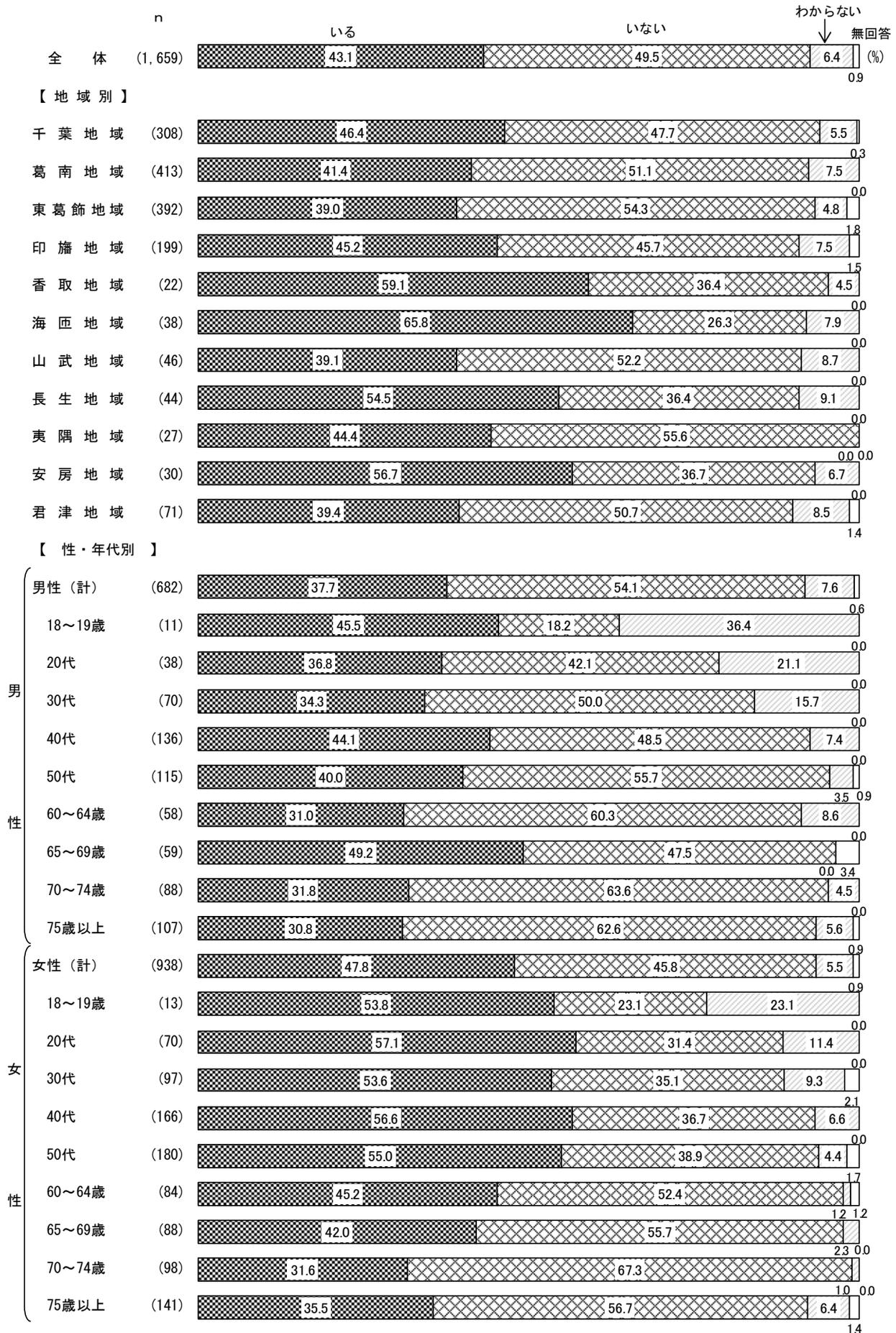
地域別にみると、「いる」は“海匠地域”（65.8%）が6割台半ばで高くなっている。（図表5-8）

【性・年代別】

性・年代別にみると、「いる」は女性の20代（57.1%）が約6割、女性の40代（56.6%）、50代（55.0%）と30代（53.6%）が5割台半ばで高くなっている。

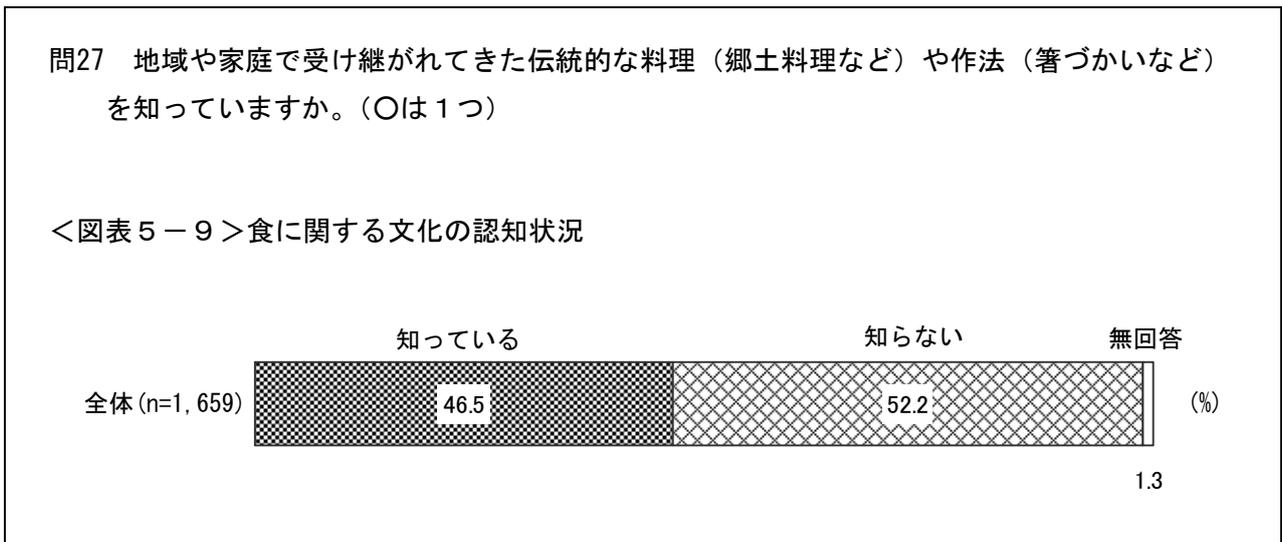
一方、「いない」は女性の70～74歳（67.3%）が約7割、男性の70～74歳（63.6%）が6割台半ば、男性の75歳以上（62.6%）が6割を超えて高くなっている。（図表5-8）

＜図表5－8＞農林漁業体験の参加状況／地域別、性・年代別



（5）食に関する文化の認知状況

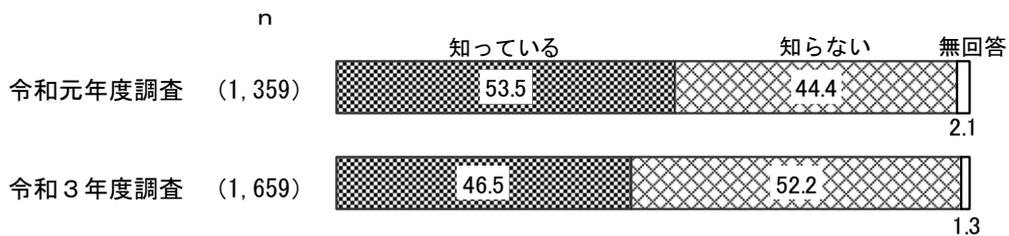
◇「知っている」が4割台半ば



地域や家庭で受け継がれてきた伝統的な料理（郷土料理など）や作法（箸づかいなど）を知っているか聞いたところ、「知っている」（46.5%）が4割台半ばとなっている。

一方、「知らない」（52.2%）が5割を超えている。（図表5-9）

〔参考〕令和元年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：%）



【地域別】

地域別にみると、「知っている」は“夷隅地域”（66.7%）が6割台半ばで高くなっている。

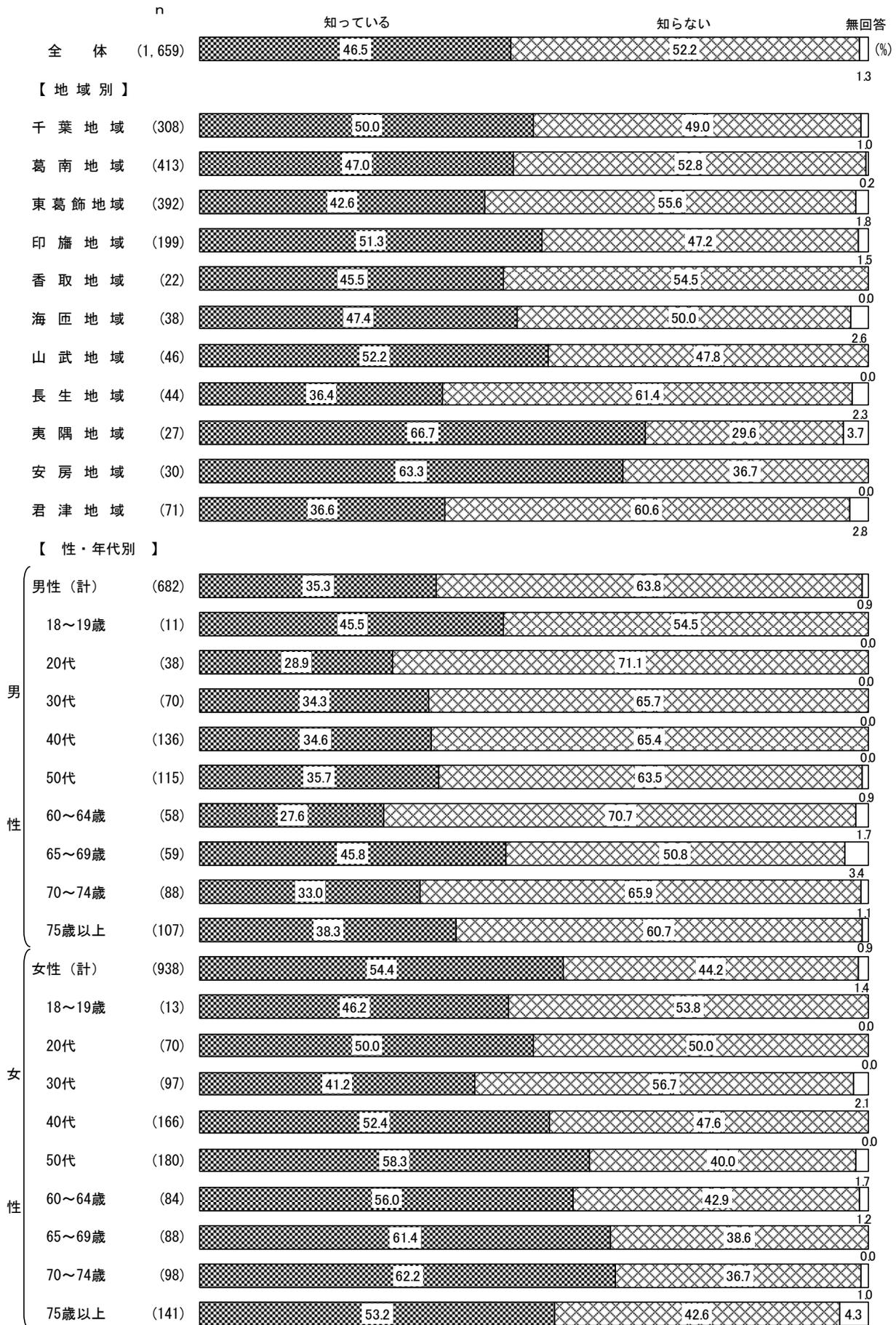
（図表5-10）

【性・年代別】

性・年代別にみると、「知っている」は女性の70～74歳（62.2%）と65～69歳（61.4%）が6割を超え、女性の50代（58.3%）が約6割で高くなっている。

一方、「知らない」は男性の20代（71.1%）が7割を超え、男性の60～64歳（70.7%）が7割、男性の70～74歳（65.9%）、30代（65.7%）、40代（65.4%）と50代（63.5%）が6割台半ばで高くなっている。（図表5-10）

<図表5-10>食に関する文化の認知状況／地域別、性・年代別



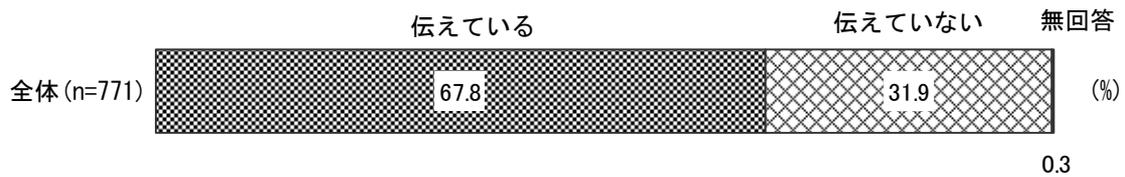
（6）食に関する文化の伝承

◇「伝えている」が約7割

（問27で「知っている」とお答えの方に）

問27-1 地域や家庭で受け継がれてきた伝統的な料理（郷土料理など）や作法（箸づかいなど）を地域や次世代（子どもやお孫さん含む）に対して伝えていますか。（○は1つ）

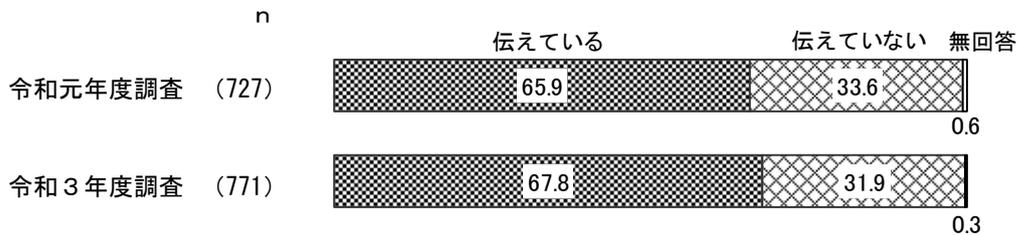
<図表5-11>食に関する文化の伝承



地域や家庭で受け継がれてきた伝統的な料理や作法を知っていると回答した771人を対象に、地域や次世代（子どもやお孫さん含む）に対して伝えているか聞いたところ、「伝えている」（67.8%）が約7割となっている。

一方、「伝えていない」（31.9%）が3割を超えている。（図表5-11）

〔参考〕令和元年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：%）



【地域別】

地域別にみると、「伝えていない」は“君津地域”（50.0%）が5割で高くなっている。

（図表5-12）

【性・年代別】

性・年代別にみると、「伝えている」は女性の75歳以上（84.0%）が8割台半ば、女性の50代（78.1%）が約8割で高くなっている。

一方、「伝えていない」は女性の20代（60.0%）が6割、男性の40代（46.8%）が4割台半ばで高くなっている。（図表5-12）

<図表5-12>食に関する文化の伝承／地域別、性・年代別

